

# 第3回 首都高都心環状線の交通機能確保に関する検討会 議事概要

## 1. 日時

令和2年3月2日（月）～5日（木）※書面による持ち回り開催

## 2. 検討会メンバー

池田 国土交通省道路局長

北村 国土交通省都市局長

眞鍋 国土交通省住宅局長

佐藤 東京都技監（都市整備局長兼務）

吉田 中央区副区長

大島 首都高速道路（株）代表取締役専務執行役員

加藤 東京高速道路（株）取締役社長

## 3. 議事

首都高都心環状線の大型車交通の環状機能確保策について（中間とりまとめ(案)）

## 4. 議事概要

- 会議の開催に代えて、検討会メンバーの意見聴取を行ったところ、
  - ・ 東京高速道路（KK線）の構造強化案は、テナントの影響に加え、銀座地区の活気とにぎわいなどへの影響が大きく、合意形成は大変困難。KK線を活用した賑わいと潤いのある緑のプロムナード化を目指しており、別線整備案に賛同
  - ・ 別線整備案は、テナントへの影響や、銀座地区の活気とにぎわいに配慮された案と評価
  - ・ 周辺のまちづくりが現時点では検討段階であることに留意の上、別線整備案の具体化に向けて、関係者共同で、日本橋地下化区間の整備スケジュールを踏まえ、スピード感を持った事業スキーム等の検討・調整が必要
  - ・ まちづくりを検討している地区の具体化に向けて速やかな検討を行うことなどの意見が出され、中間とりまとめとして、別線（地下）整備案の具体化に向けて、引き続き、関係機関との調整を進めることが確認された。
- その他、以下についての意見が出された。
  - ・ KK線全線の一体的な有効活用策の検討が可能となったので、KK線の既存施設のあり方検討会での前向きな検討を期待
  - ・ 都心環状線築地川区間の大規模更新の早期着手が必要。また、それとあわせてまちづくりの検討や、上部空間活用に向けた検討・調整が必要
  - ・ 高速晴海線延伸について、関係者が連携して交通計画のあり方を検討し、事業化に向けて取り組む必要がある